藤村いろは歌留多

島崎藤村

青空文庫

「歌留多」の函

「歌留多」のなかに折りたたみで入っていたパンフレット

このいろはがるた

長いこと私は民話を書くことを思ひ立つて、未だにそれを果さずにゐますが、このいろはがるたもそんな心持から作つて見ました。私の『幼きものに』や、『ふるさと』や、『をさなものがたり』は、形こそ童話でありますが、その心持は民話に近いやうに、子供のために作つたこのいろはがるたも矢張それに近いものです。子供よ、來て遊べ、と言つて、父母も一緒に遊んで下さい。

い　犬も道を知る。

ろ　櫓は深い水、棹は淺い水。

は　鼻から提灯。

に　鷄のおはやうも三度。

ほ　星まで高く飛べ。

へ　臍も身の内。

と　虎の皮自慢。

ち　ちひさい時からあるものは、大きくなつてもある。

り　林檎に目鼻。

ぬ　沼に住む鯰、沼に遊ぶ鯰。

る　瑠璃や駒鳥をきけば父母がこひしい。

を　丘のやうに古い。

わ　わからずやにつける藥はないか。

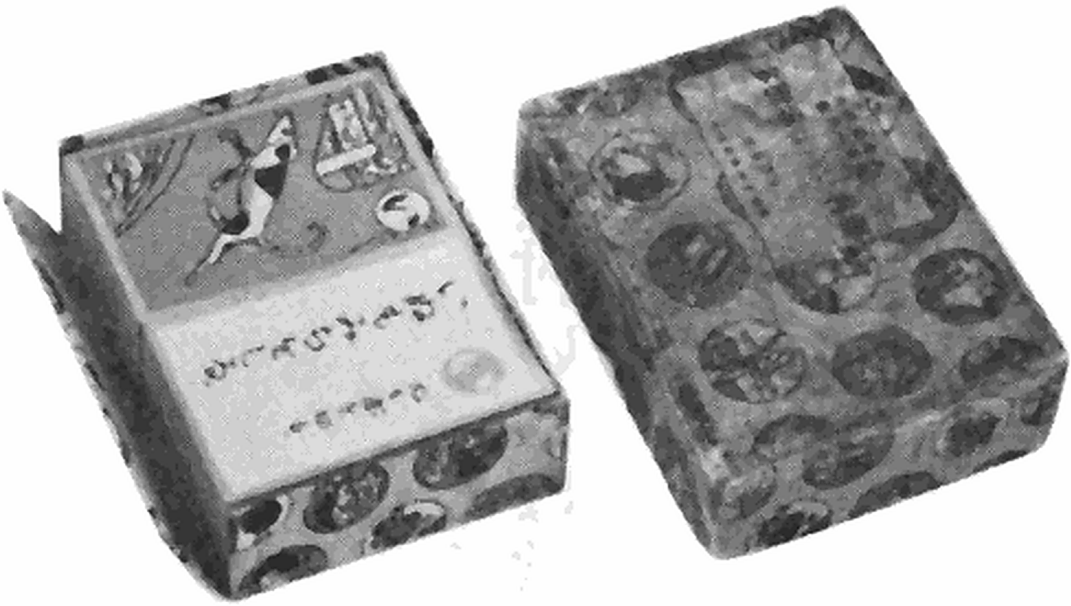
か　賢い鴉は黒く化粧する。

よ　好いお客は後から。

た　竹のことは竹に習へ。

れ　零點か百點か。

そ　空飛ぶ鳥も土を忘れず。



つ　つんぼに内證話。

ね　猫には手毬。

な　なんにも知らない馬鹿、何もかも知つてゐる馬鹿。

ら　蝋燭は靜かに燃え。

む　胸を開け。

う　瓜は四つにも輪にも切られる。

ゐ　猪の尻もちつき。

の　のんきに根氣。

お　玩具は野にも畠にも。

く　草も餅になる。

や　藪から棒。

ま　誠實は殘る。

け　決心一つ。

ふ　不思議な御縁。

こ　獨樂の澄む時、心棒の　る時。

え　枝葉より根元。

て　手習も三年。

あ　鸚鵡の口に戸はたてられず。

さ　里芋の山盛り。

き　菊の風情、朝顏の心。

ゆ　雪がふれば犬でもうれしい。

め　めづらしからう、面白からう。

み　耳を貸して手を借りられ。

し　仕合せの明後日。

ゑ　笑顏は光る。

ひ　日和に足駄ばき。

も　持ちつ持たれつ。

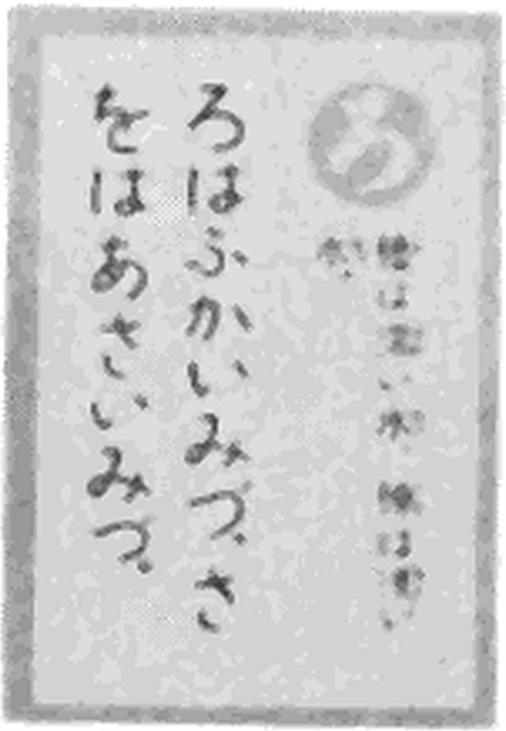
せ　蝉はぬけがらを忘る。

す　西瓜丸裸。

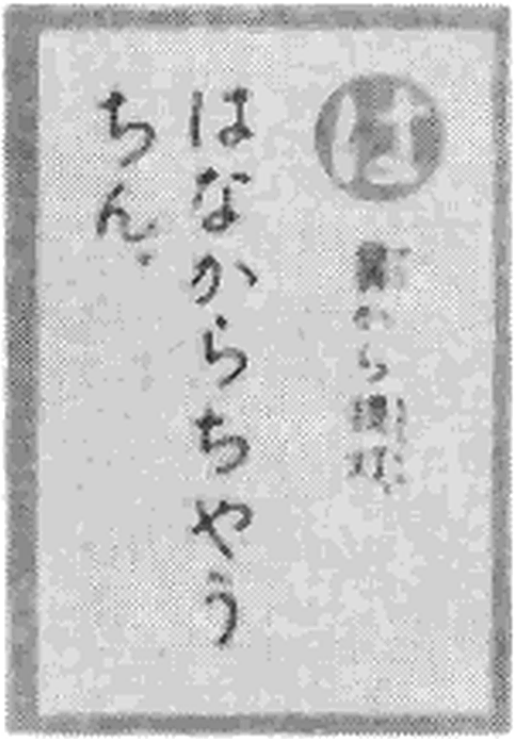
い
いぬもみちをしる。

青空文庫情報

底本：「藤村全集第九巻」筑摩書房
　　1967（昭和42）年7月10日発行
初出：「藤村いろは歌留多」實業之日本社
　　1927（昭和2）年1月5日
※絵札は岡本一平によります。
入力：かな　とよみ
校正：杉浦鳥見
2020年2月21日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。


ろはふかいみづさ
をはあさいみづ



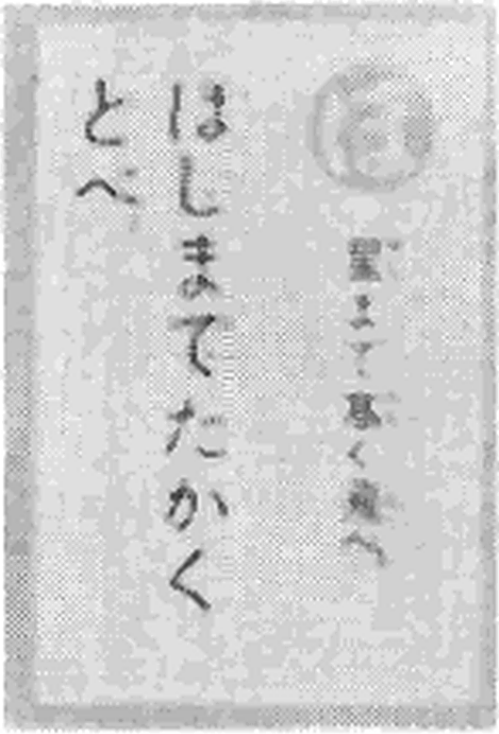

はなからちやう
ちん。



に

にはとりのおはや
うさんと、

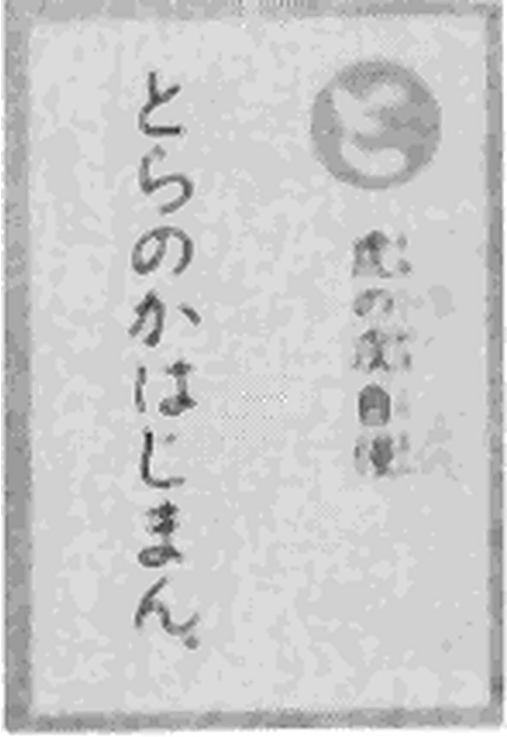



星まで、高く飛べ
はしまでたかく
とべ



へそもみのうち。




とらのかはしまん。



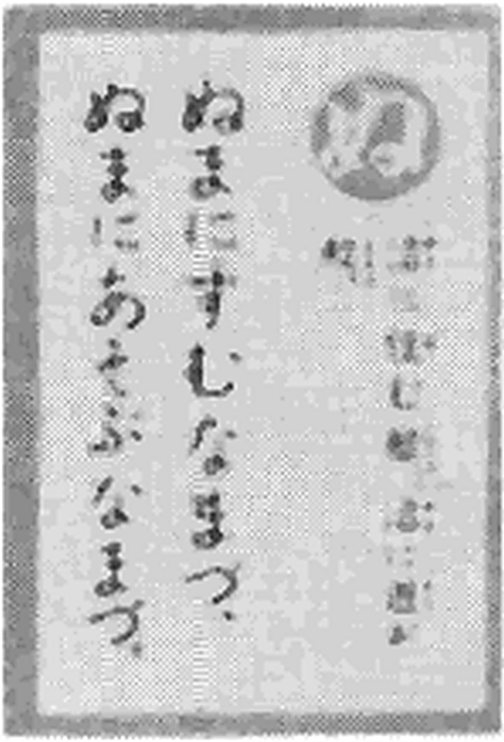
ち

ちいさいときからあるものは、おはなくなってもある。

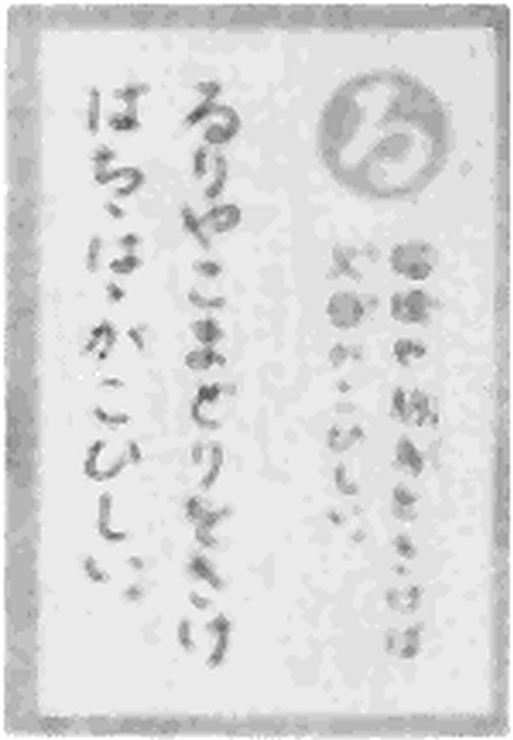


り

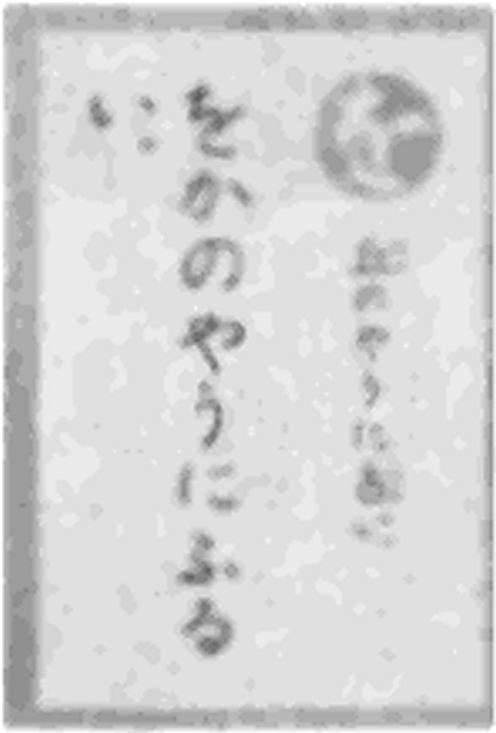
りんごにめはな

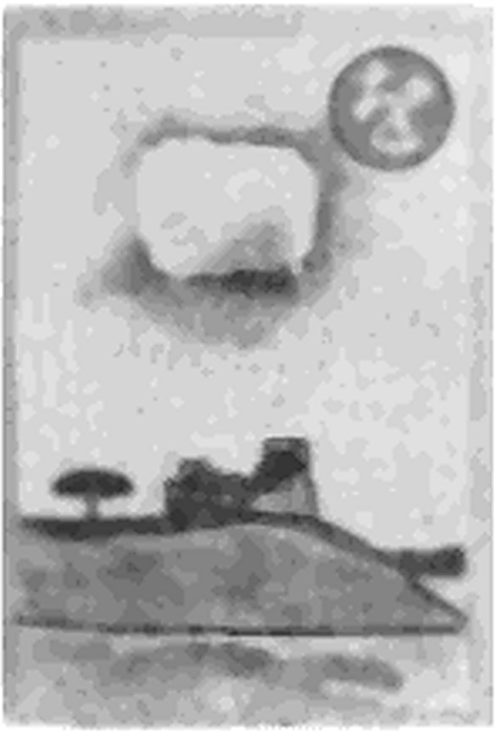

ぬまにすむなまづ、
ぬまにあそぶなまづ。




ろ
ろりやこまどりそだち
はちはかこひし

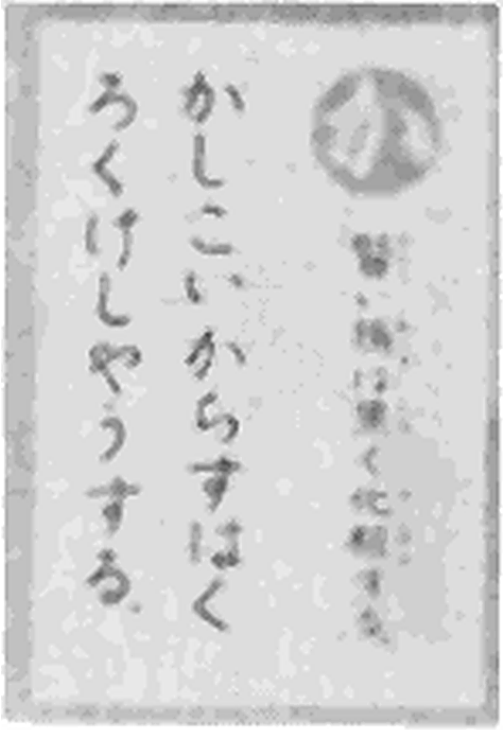

ろ


をかのやうにふる



わからずやにつける
くすりはないか。




かしこいからすはく
ろくけしやうする。



よいおきやくはあと
から、



12

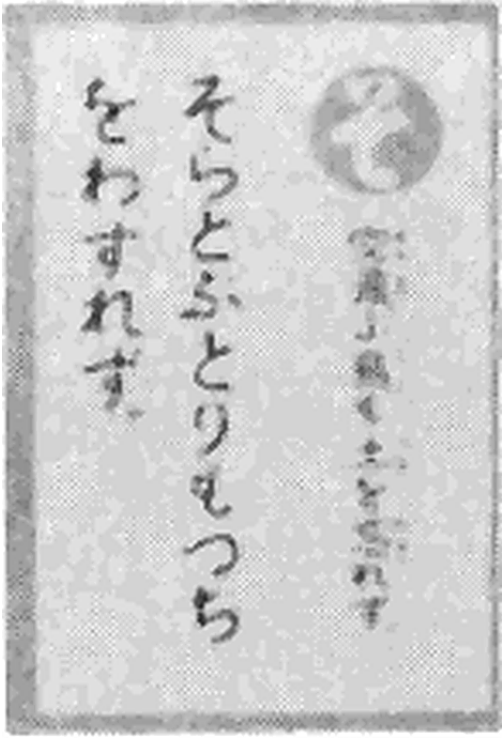
かるこころは竹に雀へ

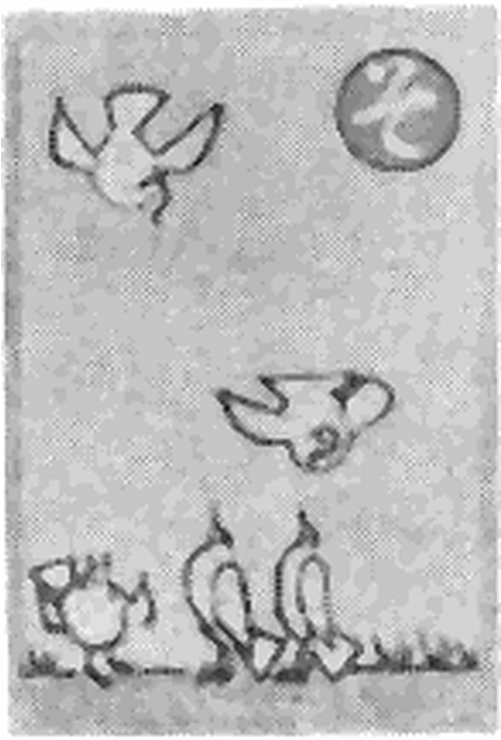
たけのことはたけ
にならへ。

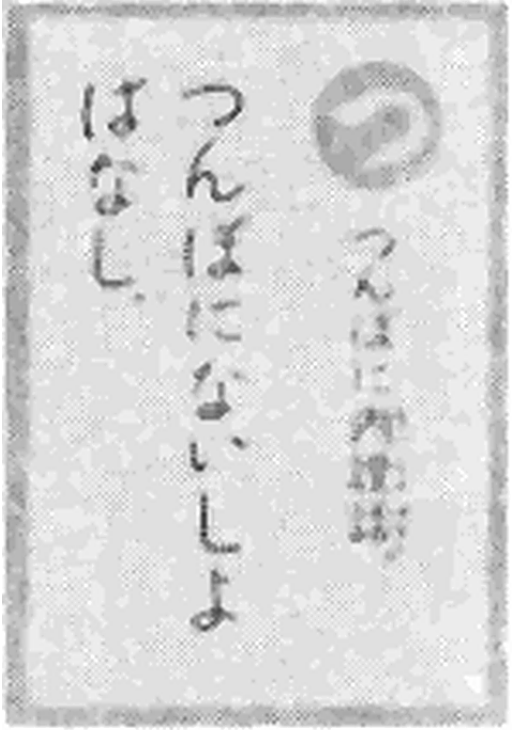


れいてんか、ひやく
てんか。




そらとふとりもつち
をわすれず



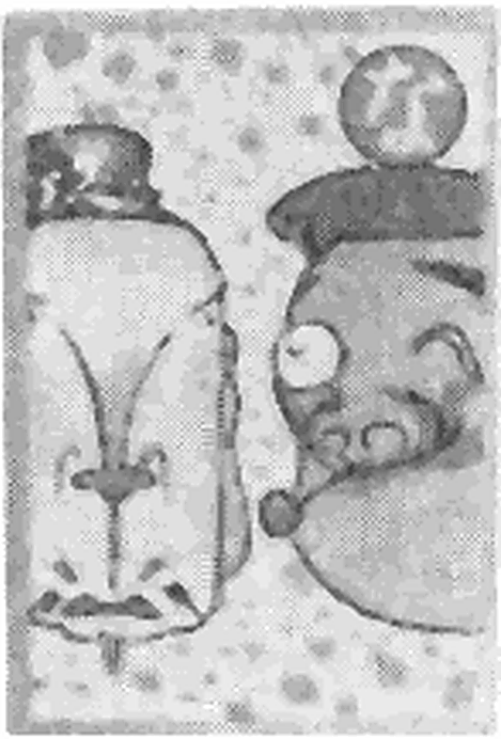

つんはにないしよ
はなし。



ねこにはてまり。



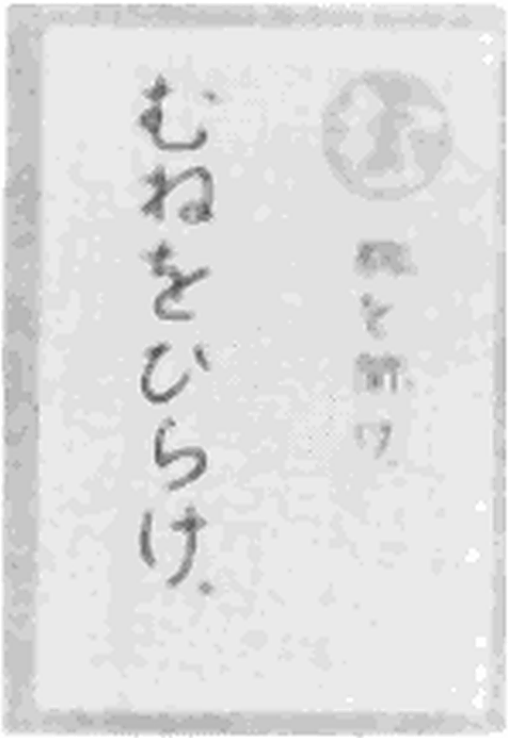
なんにもしらないばか。
なにもかもしってるばか。



ら

らうそくはしづか
にもえ



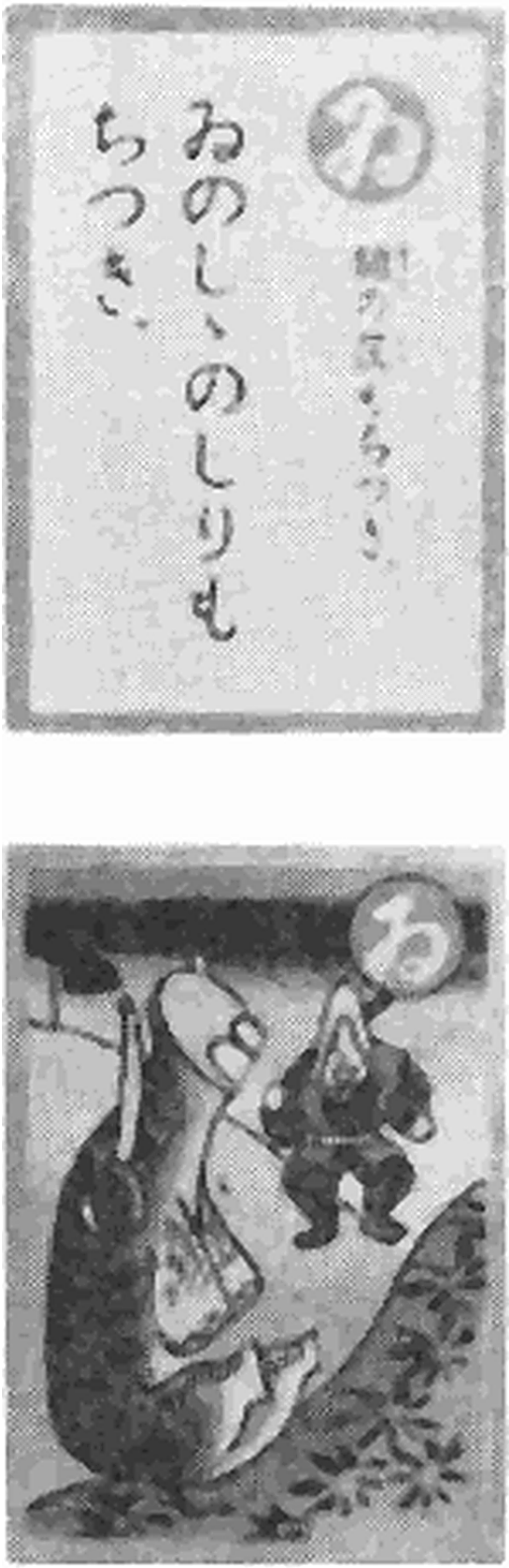

む
むねをひらけ。


む

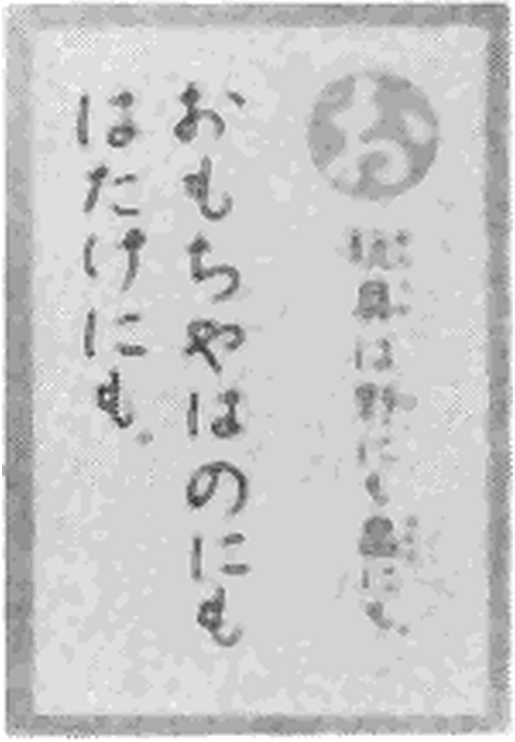
う

うりはよつにも
にもきられる。




ね
ねのしゝのしりも
ちつさい

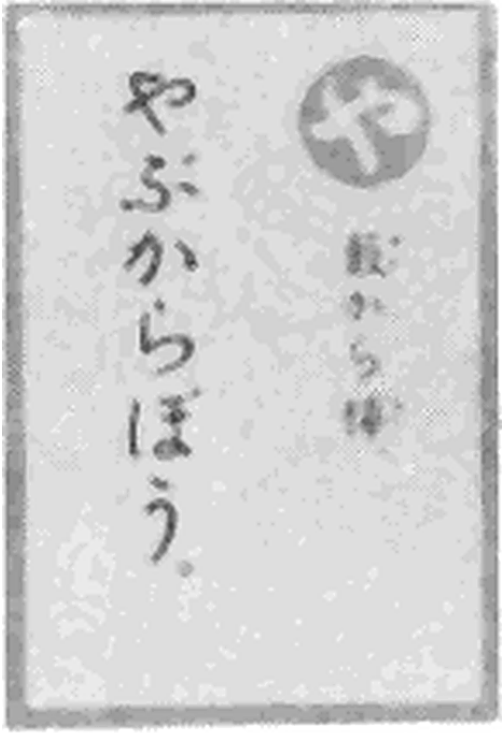
のんきにこんき。


馬は野にも山にも、
おもちやはのにも
はたけにも。

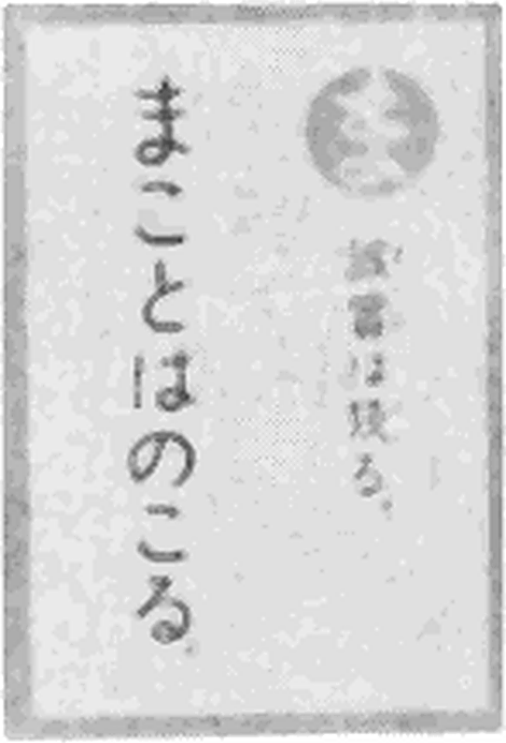


く

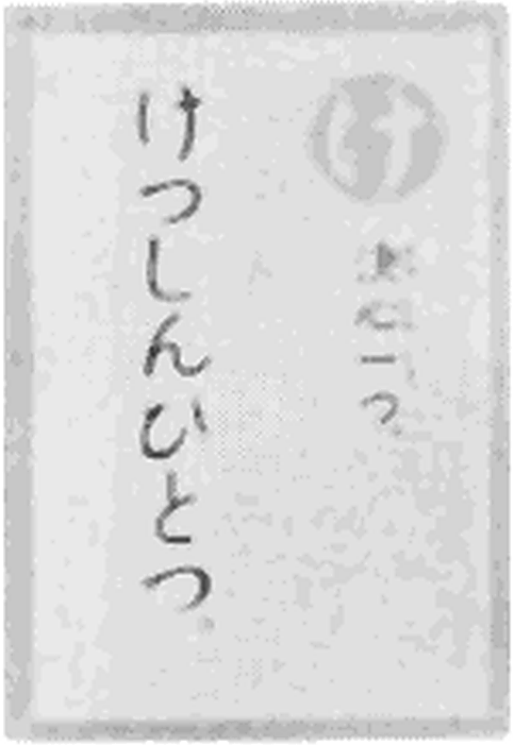
くさぐもをつかまえる。


や
やぶからぼう。

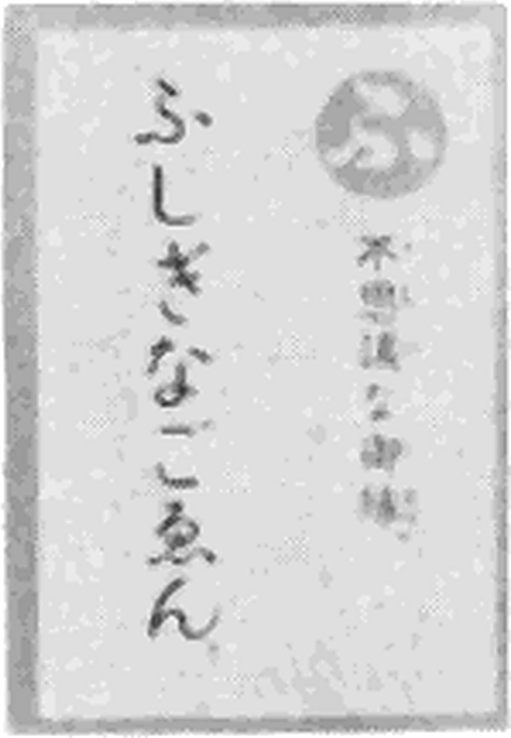

ゆ


武者は見る。
まことはのこる

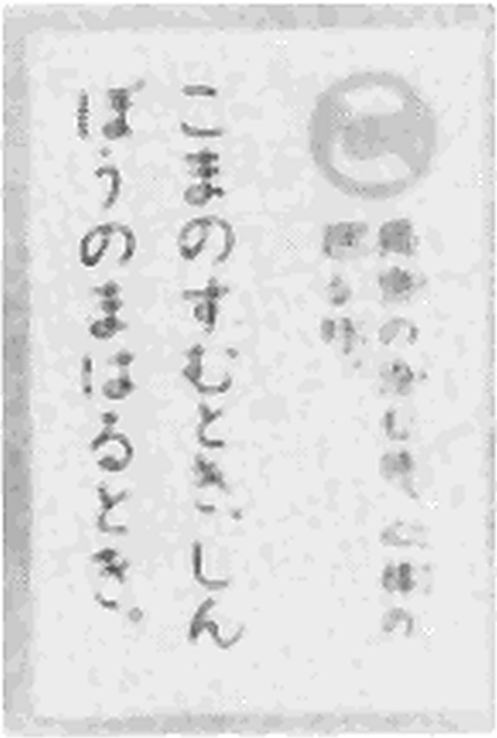


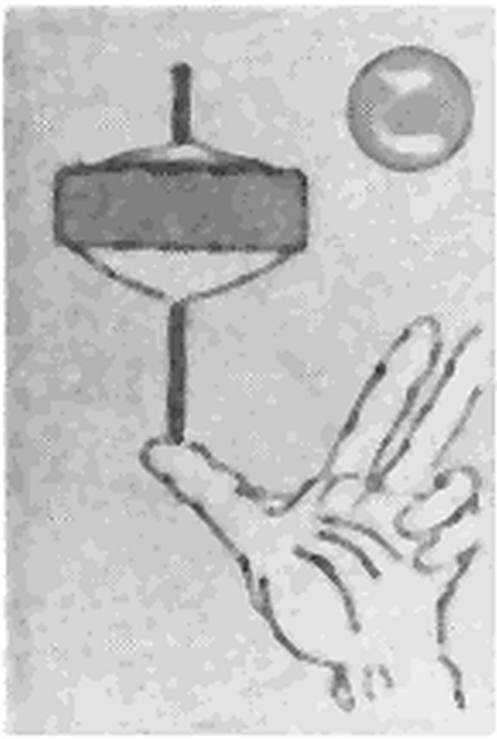

(5)
おにの
けっしんひとつ




ふしぎなこえん




こまのすむときこしん
ぼうのまはるとき。



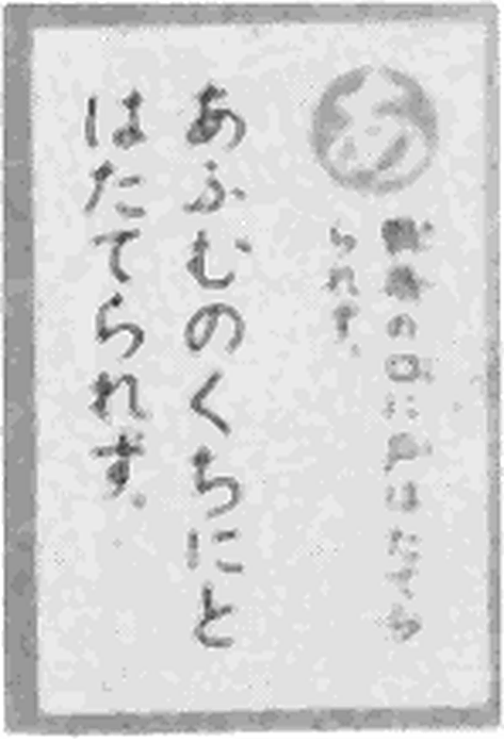
え

江戸より極楽へ

えたはよりねもと



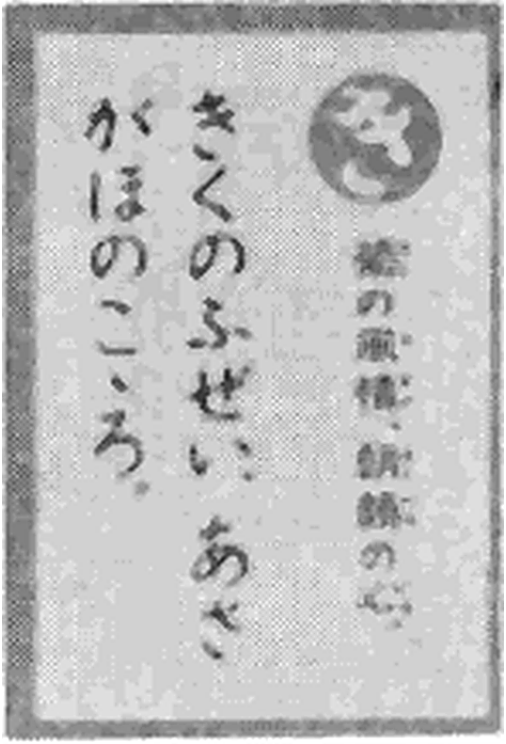
てならひもさんねん


あふむのくちにと
はたてられず。

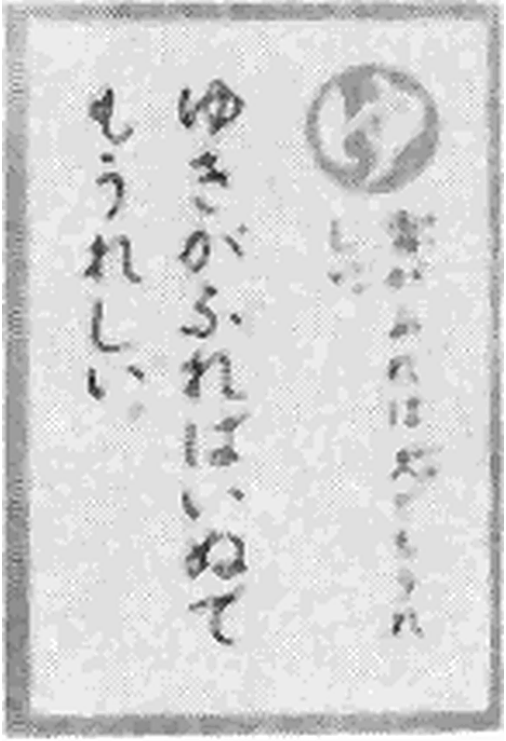


2
おかしの家に
すんでいるのは？

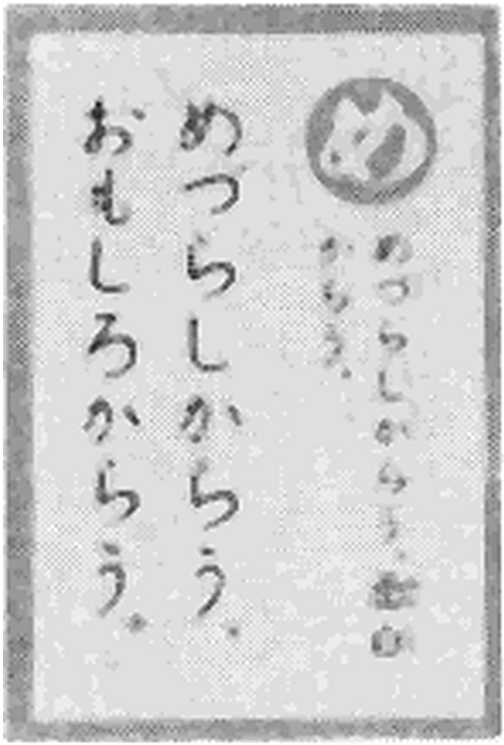
3


3
きくのふぜい、あさ
がほのこゝろ。

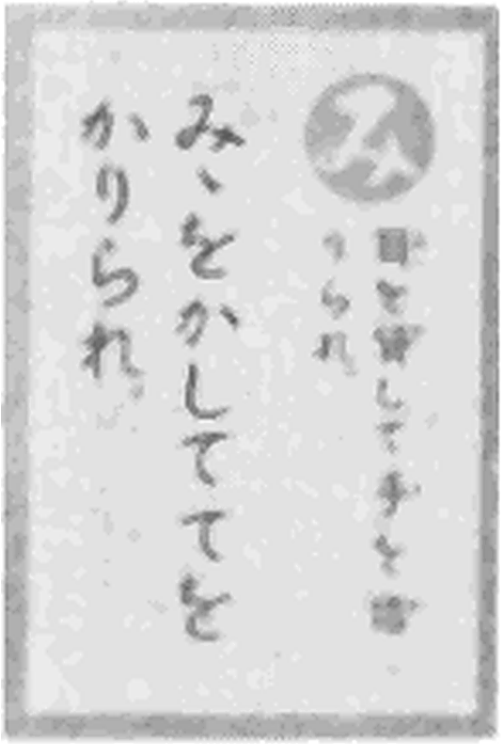



ゆきがふればいぬて
もうれしい

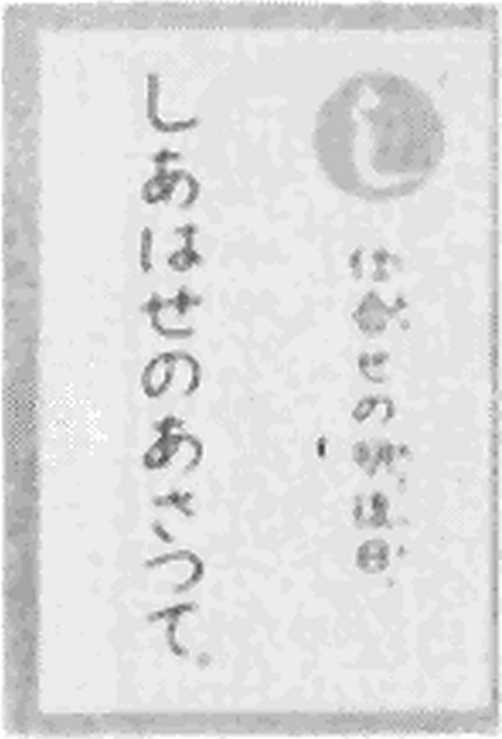



めつらしからう。
おもしろからう。

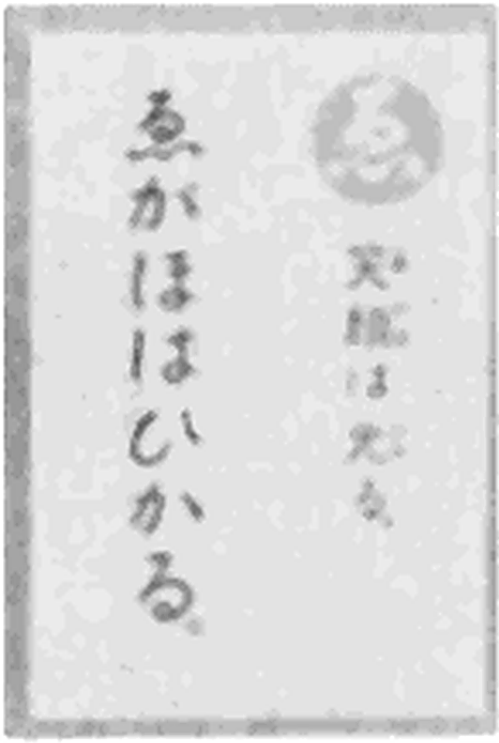



み、をかしてをかりられ




し
しあはせのあさつて。

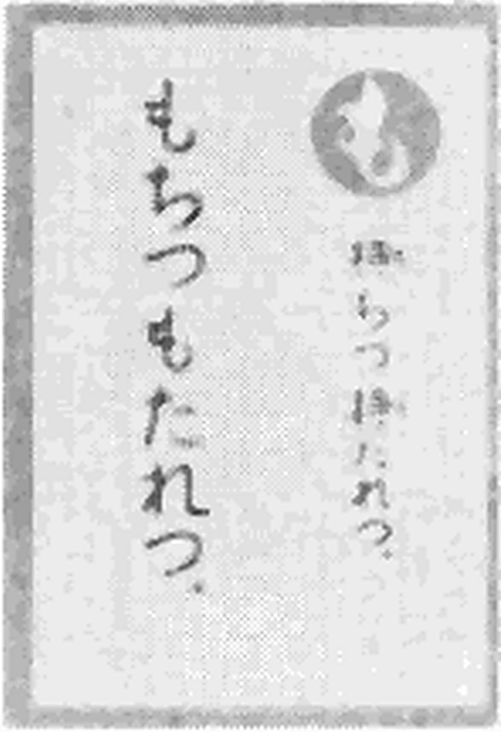

し


天狗はうちわ
ゑがほはひかる。



ひ

ひよりにあしたはよ


もちつもたれつ。

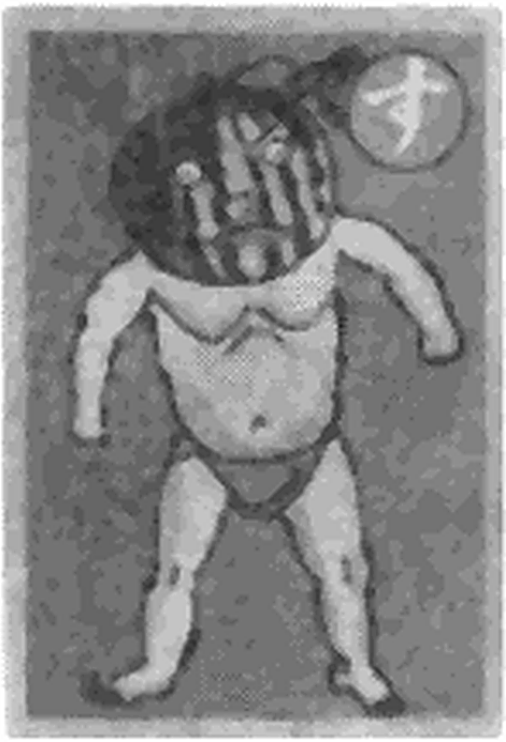


せみはぬけがらを
わする。



す

すゐくわまるはだか。



藤村いろは歌留多

島崎藤村

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/